



# よこはま プロバス通信

No29 2019年11月発行

<http://yokohama1probus.web.fc2.com/TR3.html>  
ユーチューブチャンネル probusyokohama

情報委員会・編集委員

情報委員会所在地：横浜市中区  
本町1-8 電話：045-323-9112

## 本年度スローガン

一つの和の中であって、自分らしくゆっくりと歩いていきたい

### 新会長 東野 操



2003年に横濱プロバス倶楽部に入会、同じ頃から、福祉ボランティアに携わり、高齢者のお世話をさせてもらってきました。令和に入り私もその方々と同じような年齢になってきました。そろそろ自分自身の事を見つめていこうと思った時に次のような言葉に出会いました。「あなたの心のアンテナが、今日も青空高くそびえ立ち、いのちのメッセージを受信し続ける限りたとえ80歳であったとしてもあなたはつねに青春」（「青春とは」より）。これからはこんな気持ちでプロバスの皆さんとの出会いを大切に楽しんでいきたいと思ひます。

### ■關新副会長挨拶

私も岩城元会長の次に古い会員になりました。2名の名譽会員を除くと皆新しい会員になっています。これから東野会長をサポートしていきますのでよろしくお祈りします。

### ■保谷新幹事挨拶

昨年度は例会会場にも恵まれ、明るく伸び伸びとした会を催すことができました。これも前役員及び会員皆様の努力の賜物と思ひます。「理事会、例会、他クラブとの交流をまとめる」のが幹事の主な役目という我が倶楽部の伝統を守り東野新会長の下で、チームワークを図り、会員間のコミュニケーションを第一に、“楽しい横濱プロバス倶楽部”を築いていきたいと思ひます。

### ■新役員へタスキ引継ぎ

岡部会長から東野新会長へ神谷幹事から保谷新幹事へ大久保委員長から森山新例会委員長へ加藤道子委員長から内山新会員委員長へ関口委員長から松原新情報委員長へタスキの引継ぎがおこなわれた。

### ■岡部正久会長謝辞

こんにちは。早いもので本日今期最後の例会となりました。関内の2階の狭いところから、浜銀OBの方の努力によりこの会場に移って1年経過しました。皆様のご尽力に感謝申し上げます。（6月総会で）



### ■全日本プロバス協議会；岩城全日本理事

全日本PC報告の前に1件お話があります。

偶然「ピアノ演奏プロムナード」テレビで第3代会長の佐藤博さんの逝去を知り（ピアノを演奏した佐藤夫人のお宅でテレビに遺影が出た）、奥さんに連絡して仏前お供えを贈りました。また、偶然にもピアニストの奥さんが泉区葛野小学校（岩城理事の近所）の文化祭で演奏するとのこと。縁の深さを感じました。佐藤博会長は絵描きさんで当会でも大変ご苦労された方ですので、プロバスの活動状況を遺族に今後もお伝えしていきたいと思ひます。

### 青森県六ヶ所プロバスクラブ10周年記念式典

次に、青森県六ヶ所村プロバスクラブの10周年祝賀会に森山全日本顧問と行ってきました（5月25日開催。12人の会ですが40人参加。地元の新聞にも記事掲載）草刈り会活動や植樹活動をしていて、広大な太陽光発電もある地区です。参加してよかったです。

須藤照夫会員：昨年の3月31日事故にあいまして14ヶ月ぶりに出席することができました。足のすね両肩骨折 顔面打撲で目が…完全に直っていませんが 社会復帰のリハビリをしています。（2ヶ月間意識不明の重体でした）

樋口健太郎会員：健康には自信があったのですが癌を患いました。手術はぱっぱと終わったのですが精神的にかなり落ち込みました。9回の癌手術を行なった青木さんを改めて尊敬しました。皆さんも健康診断は必ず受けてください。

ひさしぶりに元気に参加した須藤照夫会員と樋口会員 7月例会で



7月会員放談で小磯智功会員（写真）から横浜市役所水道局に配属になったとき先輩に教わった黒田官兵衛（如水）の「水五訓」の話がありましたのでご紹介します。



- 1、自ら活動して他を動かすは水なり  
「率先垂範せよ」ということ。水は自らが動くことで周りのものを動かし、運んでいきます。人間も、自らは何もしないままで、ああしろ、こうしろと言っても、誰も動くはずがありません。自ら模範を示すことによって、周囲を牽引する人になってください
- 2、常に己の進路を求めて止まらざるは水なり  
「自ら考えて道を拓くことを心がけよ」ということ。水はどんな環境の中でもその流れを止めることなく動いていきます。何か失敗した時に、周りのせいにしていませんか？自ら考え、努力することで道を切り拓いていく人になってください
- 3、障害にあい激しくその勢力を百倍し得るは水なり  
「あきらめることからは何も生まれない」ということ。順調な水の流れもダムという壁によってさえぎられることもあります。そんな時は、その力を満々と内に蓄えます。蓄積された力があるからこそ、解放され

た時に巨大なエネルギーを発揮できるからです。困難に直面して、自分の可能性をあきらめてしまっはけません。苦しい時もじっと耐えて努力を続けていけば、大きな力となってかえってきます

4、自ら潔うして他の汚れを洗い清濁併せ容るるは水なり  
「人を追いやることをせず共に頑張ろう」ということ。学校や社会には様々な価値観をもつ人がまっています。感覚、リズム、方法、価値観の合わない人を排除するのではなく、長所を見つけてそれを生かすことをまず考えましょう。川は脇から濁った水が注がれてきても、「入ってくるな」とか「出ていけ」とは言いません。様々な水を一にまとめて、大きな目的に向かって集約していくような、そんな度量を持つ人になってください

5、洋々として大洋を充たし発しては蒸気となり雲となり雨となり雪と変じ霞と化し凝しては玲瓏（れいろう）となり鏡となりたえるも其性を失はざるは水まり  
「常に自然の理にそって物事を考えよ」ということ。水は温度の変化、器の形によって、次々に自らの形を変えます。しかし、その本質は一切変化することはありません。我々人間もまた、変化に対応するのに常に柔軟でなければなりません。与えられた環境の中で、いかにして最大の努力を行うかが大切です。

同好会 紹介

パソコン勉強会 (写真8月27日)

基本毎月第4火曜日15時から  
講師：三井章太郎氏  
熱心な勉強家10人が横浜駅西口の神奈川県民サポートセンターで午後3時より5時まで三井講師を招き行いました。今世間で最も多く手軽に使われているLINEについてを勉強。今回は迷惑LINE



の削除の仕方、勝手に友達が増える心配、知らない人からのLINE等々をロジェクターを使って説明。わからないことはどんどん質

問して解決？手軽なLINEで連絡を取り合えるように!!ガラ携からスマホに切り替え子供孫と気軽に連絡取れると喜んでいる会員もいます。興味のある方はぜひ声を掛けてください。世話人：宮川会 (080-3004-7565)

英語勉強会 (写真7月26日)

基本毎月第4金曜日15時から 講師：ダニエル山田氏  
「教科書を前に英会話の面白さ難しさを例題を交えて2時間あつという間でした」とは参加者の声。回を追うごとに参加者が増え定員オーバーのうれしい悲鳴。これは、なんといっても講師の生きた英語力と豊富な実体験によるところが大きい。朝鮮戦争、ベトナム戦争にも従軍、幼少をアメリカ人としてアメリカで過ごした数奇な運命。87歳でありながら年代、事件、その時の模様がスラスラと出てくる明晰な話に引き込まれていく。



事務局だより

松下 尚雄  
(事務局長)



- 2名の方が入会されました
- 東京日野プロバスケットと親睦交流会 (10月24日)

■新会員紹介

鈴木国彦様  
(1930年生)  
経済、経営評論家  
NHK文化センター講師  
アイスホッケー



40歳以上世界選手権日本代表 登山

佐藤政男様  
(1946年生)  
宮沢賢治の研究者  
ナンプレ 読書



環境問題を問う

五輪開幕まで1年を切りました。ここで、長野冬季オリンピックで刻んできた倉嶋康氏の数々の事績を振り返り、いま日本が直面している環境問題を考えてみたいと執筆をお願いしました。(松原)

走れ!! 五輪へ

[NASL(ナッスル)国際環境使節団] 第1幕 スタート編

倉嶋 康 会員

環境問題ではメディアの後援を得られないとなれば単独でスポンサーを見つけなくてはなりません。私にとりましてはオリンピックがらみでこれだけ大きな、そして国際的なイベントを手掛けるのは初めてです。武士の商法と言われても仕方ありません。政治家の力は借りたくない、地元紙との合同企画にするかなどと考え悩みました。

そこに救いの神が現れました。かねてから私が主宰している飛天隊の世界旅行に関心を抱いていた電通のYさんが、偶然電話を掛けてきたのです。「なにか面白い企画がありませんか」。オリンピックまであと1年という1997年1月、プレゼンテーションのため1人で上京しました。この段階では一緒にしてくれる同志はいなくて孤軍奮闘です。

プレゼンテーションの結果は大成功。電通は乗り



気になり、費用は幾ら見込んでいるのか、スポンサーにつけるのはオリンピックのオフィシャルスポンサーでなくてもいいのかなどと質問も具体的です。橋渡しをしたY部長を担当者に決めてくれました。

ここで私は事業主体に飛天隊以外の人も入れることを決めて、団体の名称を決めました。「NASL(ナッスルと発音します)国際環境使節団」という名前だけは堂々とした感じ。ナガノのNAとソルトレークのSLをくっつけただけでしたが、Y部長は「とっさにこんな良い名前を思いつくなんて、あなたは天才です」とおだててくれました。

(写真:NASLはのちに凧にも描かれました)

秋の移動例会を10月11日(金)に開催  
～東京駅・丸の内～

福島プロバスクラブから根本フク会長はじめ5名が参加。横濱プロバス倶楽部は東野操会長、保谷幹事のもと31名が参加。総勢26名が小雨の中、東京駅及び丸の内を4グループに分かれガイドの方が案内してくれた。知っているようで知らない江戸時代の事績、地理。そして明治時代の発展の足跡を建築をたどって時代を偲んだ。おりしもラクビーワールドカップ2019に因んだ展示も見ることができた。最後は丸ビル6階で交流懇親会を開催、和やかな有意義なひと時を過ごした。



横浜まろにえプロバスクラブ  
創立10周年記念祝賀会

9月26日11時横浜ロイヤルパークホテルで開催された。これには全日本プロバス協議会古賀靖子会長も駆けつけてくださり祝辞を頂いた。横濱プ

ロバス倶楽部からは全日本プロバス協議会理事・岩城孝子、前会長の中村實、横濱プロバス倶楽部会長・東野操はじめ7名が参加した。寺尾美紀、倉本和希子さんによるバイオリン二重コンサートが祝賀に華を添えた。(会員25名内女性8名)

予 告

神奈川横須賀プロバスクラブ  
県下親睦交流会・横須賀大会

日時：令和2年2月21日12時  
会場：横須賀セントラルホテル  
会費：会費8000円

仕事人 秘録 久野 修慈

久野氏は私の最も尊敬する先輩である。9月例会の特別講演を今年3月にお願いしたら快くお引き受け頂いた。こちらの日時に合わせていただくことは、なかなか難しく、8月に入って9月例会（9月13日）ならばというご返事を頂いた。

そもそも久野先輩にお話を頂くことになったのは横浜との半世紀以上にわたる深い繋がりがあったからである。今や横浜の風物ともなり市民の娯楽の殿堂でもある横浜ベイスターズ（当時大洋ホエールズ）球場建設、球団社長として差配されてきたこと。また経営される塩水港精糖の自社工場が横浜にあり、われわれの日常に深く関りあっているからである。塩水港とは台湾の地域名で、後藤新平の台湾の人のために産業振興の一環として明治37年に産声を上げた歴史ある会社である。戦後昭和25年に日本で再出発をした。業績低迷の塩水港精糖を中部氏から立て直しを依頼され平成2年社長に就任、今日の隆々たる一流企業に育て上げたのが久野氏である。パール印で知られる砂糖とオリゴ糖が主力商品である。一度は耳にしたことがあるだろう。日本精糖会会長を務めるなど今なおお刻みの多忙な日々である。

さて本題に入ろう。氏は“人生

は人との出会いで決まる”という。だがその出会いを生かすも殺すも本人次第である。人は多くの人と出会う、しかしその出会いを本当に生かせる人は稀なのではないだろうか？氏が出会った大洋漁業の中部謙吉氏、戦後の日本の動向を決めた白洲次郎氏、セリーグ会長だった鈴木竜二氏等に師事しその出会いをものにしたことだけでも、ただ事ではないと思う。鈴木氏の勧めで厄介な球団社長の任を引き受ける羽目になったわけだが、そのきっかけは鈴木氏に見せられた一幅の掛け軸にあった。「感謝し、率直に、熱して戦う」との文字の後に東条英機らA級戦犯の17名の署名があった。プロ野球の再開にあたって巣鴨に報告に行った時に、したためられ戦後の復興を鈴木氏に託されたそうである。この一幅の掛け軸が久野氏の人生を決めたといえる。文字の持つ無限の力を感じた一コマである。

（続く）文責 例会委員長・森山功



年間228万人の集客を記録し過去最高になったと日経10月4日に報じられたⒺ

主力商品オリゴ糖Ⓔと横浜港、ベイブリッジの目の前に位置する横浜共同生産工場Ⓕ専用の棧橋には最大2万トンの貨物が接岸でき、原料糖の荷揚げ・倉



入れ作業を効率的に行い、また、周辺の発達した交通網を使用して製品をお客様のもとへ届けている



<編集後記>

▼平成時代に一番流行った歌は、「世界に一つだけの花」だそうです▼ナンバーワンにならなくて良い、元々特別なオンリーワンとあり、世界に一つだけの花一人ひとり違う種を持つ、その花を咲かせるだけに一生懸命になれば良いとあります▼この歌詞のように、自分らしくオンリーワンの花を咲かせることは素敵です▼横浜プロバスのメンバーもそれぞれに個性があり、意見も違います▼私は情報委員長として、お互いに個性を認め合い、自分もそれを誇りに思い、すべてがより良い方向に生かされるような情報発信が出来ればと願っております。微力ながら、ご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます（情報委員長・松原孝明）